

平成 29 年 1 月 12 日

会 員 各 位

構 造 懇 話 会
会 長 森 川 英 典

第 487 回 構造懇話会 平成 28 年度新例会のご案内

構造懇話会の運営に際しまして、日頃よりご支援賜り、誠に有難うございます。
標記の平成 28 年度新例会を下記のとおり開催いたします。
新例会は以下の通り、会員諸氏の常日頃の身近なテーマを取り上げています。
兵庫県、神戸市および各会社、団体の関係部局にもご案内をいただき、活発な
討議を期待しています。多数ご出席くださいますようご案内申し上げます。

記

1. 日 時 平成 29 年 1 月 20 日 (金) 13:15~17:30

○新例会終了後、懇親会(18:00~20:00)を開催いたします。

2. 場 所 兵庫県私学会館 4F 大ホール

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通 4 丁目 3-13 TEL (078)331-6623

3. テーマ

『 今後の地震対応のあり方、～熊本地震における教訓～ 』

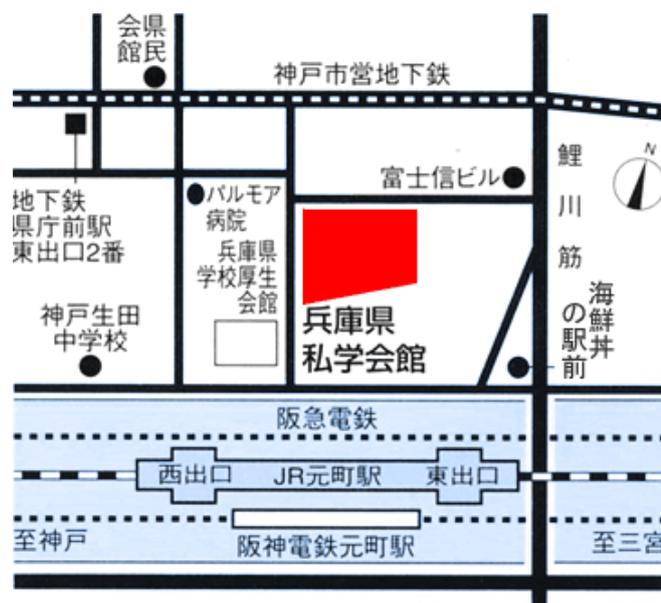
○詳細はプログラムをご参照ください。

[連絡先] 〒760-0026 高松市磨屋町 3-1

大日本コンサルタント株式会社 西本 相忠

TEL : 087-811-0899 / FAX : 087-851-9311 / e-mail : nishimoto@ne-con.co.jp

[案内図]



構造懇話会 URL <http://www.kozokonwakai.org/>

第 487 回 構造懇話会 新例会プログラム

テーマ：「今後の地震対応のあり方，～熊本地震における教訓～」

日 程：平成 29 年 1 月 20 日（金）

時 間：13：15～17：30

場 所：兵庫県私学会館 大ホール

13：15～13：20 開会の挨拶、講演者の紹介
構造懇話会会長 森川 英典

13：20～14：30 特別講演①
「熊本地震から学ぶ地震防災」
神戸大学名誉教授
高田 至郎 名誉会長

14：30～14：45 休憩

14：45～15：55 特別講演②
「地震動、地盤震動と構造物の被害」
神戸大学教授
長尾 毅 氏

15：55～16：10 休憩

16：10～17：20 特別講演③
「高速道路橋の被災及び復旧状況」
西日本高速道路株式会社
栢木 正喜 氏

17：20～17：25 閉会の挨拶
構造懇話会副会長 嵯峨 晃

特別講演①

「熊本地震から学ぶ地震防災」

① 講演者

高田 至郎 名誉会長（神戸大学名誉教授）

② 講演内容

熊本地震は連鎖的に震源移動を繰り返し、震度7を2回生起するとともに膨大な余震を伴った特異な地震である。本講演では地震発生の特徴と地表断層亀裂・沈下、液状化、地滑りの状況について概括的に述べ、人的被害、住家・歴史建造物被害、インフラの被害特徴について説明する。さらに、断層と施設安全性の影響についての工学的防災課題について詳述する。また、被災住民の生活復興に係る現場の難題に言及し、市民、企業、行政、研究者が学ぶべき教訓と防災課題をまとめる。

特別講演②

「地震動、地盤震動と構造物の被害」

① 講演者

神戸大学教授 長尾 毅 氏

② 講演内容

2016年熊本地震においては益城町を中心に甚大な被害が発生した。大きな地震はマグニチュード6.5の前震とマグニチュード7.3の本震であるが、特にマグニチュード6.5の前震においても震度7が記録されたことは特筆すべきであると考えられる。本講演では、熊本地震において観測された地震動を紹介するとともに、益城町の住宅被害を中心に橋梁を含めた構造物被害の状況を概観する。さらに、益城町の住宅被害の原因の一つとして考えられる地盤震動特性について、現地における常時微動観測記録の分析結果をもとに論じる。

特別講演③

「高速道路橋の被災及び復旧状況」

① 講演者

西日本高速道路株式会社 栢木 正喜 氏

② 講演内容

平成28年熊本地震により、高速道路橋においても甚大な被害が発生し、現在も復旧工事が続いている。主な被害は、九州自動車道（熊本IC～松橋IC）及び大分自動車道（湯布院IC～別府IC）で発生した。内陸直下の地震であったことから、被害は震央付近の限られた範囲に集中したが、近年の大規模地震と同様に支承部周辺及び伸縮装置に多くの損傷が発生した。その他、ロッキング橋脚を有する橋梁において、上部構造の水平移動ならびに橋脚の傾斜が生じ、跨道橋では落橋に至った橋もある。また、今回の損傷の特徴として、前震による損傷が本震により拡大したケースも確認された。本講演では、高速道路橋の被災及び復旧状況について報告する。